

鞆の浦しおまち海道サイクリングロード振興協議会 設立趣意書

本市では、自転車利用を促進するため、2015年（平成27年）に「福山市自転車利用促進プラン」を策定した。その施策の一つである「楽しめる機会づくり」の取組を推進するため、2018年（平成30年）に「ふくやまサイクリングロード基本計画」を策定し、瀬戸内海の多島美を望め、国内外から観光客が訪れる鞆の浦や阿伏兎観音などの観光資源を活かしたルートとして「鞆の浦しおまち海道サイクリングロード」（以下「しおまち海道」という。）を定めた。

また、2017年（平成29年）に施行された自転車活用推進法に基づき、「福山市自転車利用促進プラン」の見直しを行い、「福山市自転車活用推進計画」を新たに策定し、「サイクルツーリズムの推進による観光振興に向けた環境づくり」を施策目標の一つとして、「しおまち海道」の環境整備や情報発信に取り組んできた。

しかしながら、サイクリングを行うハード・ソフトの環境整備は十分ではなく、サイクリストや地域の方々にも十分認知されていない状況である。

今後、認知度向上に向けた環境整備や機運醸成の取組にあたっては、サイクリストだけではなく沿線居住者の声を聞きながら地域の安心・安全を確保することも重要である。

現在、本市南部地域では、地域の渋滞緩和・安全確保に向けた「鞆未来トンネル」や「東西交通・交流拠点等」のハード整備が進められているとともに、「仙酔島の跡地利活用」や「道の駅アリストぬまくま」の再整備にも取り組んでいる。

これらの整備の完成を見据え、しおまち海道の利用のあり方の検討を始める絶好の機会である。

このため、「しおまち海道」の更なる利用促進につながる、路面表示等の走行環境や、イベント開催及び代替交通の確保等の受入環境の向上、また情報発信を含む機運醸成に関する具体的な方策を議論するとともに、それぞれの取組を実践していくため、サイクルツーリズムの振興に関して知見を有する自転車関係団体、経済団体、観光事業者、交通事業者と、国、県、市による協議会を新たに設置する。